

インマヌエル中目黒キリスト教会

2012年11月4日 聖日礼拝

「インマヌエル～いる恵み」

マタイの福音書

28章16-20節

河村 従彦 牧師



聖書朗読

新約聖書

マタイの福音書28章16-20節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp57~/ 第三版の聖書はp63

- 16 しかし、十一人の弟子たちは、ガリラヤに行って、イエスの指示された山に登った。
- 17 そして、イエスにお会いしたとき、彼らは礼拝した。しかし、ある者は疑った。
- 18 イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。

19 それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、

20 また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

説教

「インマヌエル～いる恵み」

マタイの福音書
28章16－20節

河村 従彦 牧師



はじめに

信仰 ～神さまがすばらしいことを
「してくださる」

一步視線を引いて、その前に
ある人間の基本の部分に

I 福音書の文脈 ～いることへの問い

A マタイの福音書の特長

～神さまがともにおられる

1 構造 ～サンドイッチの法則

1章 神さまが肉体をとって民の中に
住まわれる

28章 地上生涯の後にも共におられる

2 神さまが共におられることの意味

旧約的なニュアンス ～働かれた神さま

新約的なニュアンス

～受肉された神さま

沈黙される姿 しかし……

そのような助け方のほうが本当は強い

3 受肉の意味 ～時間・空間の中に

B この方が共におられるというメッセージ

1 ユダヤ人への強いメッセージ

一見ありがたいこと ～ 選民意識

しかし逆に、明確な問いかけになった

2 現代に生きるわたしたちへのメッセージ

「やる」ことに特長

→「いる」ことの意味を問いかける

現場に目が向いている

逆転現象

C イエスさまは地上の生涯でどのように
「いる」方？

- 1 誕生
- 2 「涙」
- 3 「かがんで字をかいておられた」
- 4 弟子たち、ヨハネのそばに「いた」
- 5 十字架上の罪人のそばに「いた」

人生の根底にあるもの—自分の人生は？

→存在の根拠を探している

人生の最後に不思議な人と出会った

～十字架のキリスト

イエスは無力な存在として

II クリスチャンの佇まい～いることの恵み

A 神さまがわたしたちと共におられると
いう信仰

1 だから大丈夫だというだけのことでは
ない

2 共に「おられる」の幸い

B 私たちがだれかと共にいることの恵み

1 かなり近い関係にある人

2 問題を持っている方

3 「いる」ことはむずかしい

完全主義的な傾向を持つ人間の弱さ

ことばを与えることで終わらせたい弱さ

4 困難の中で大切なのは、だれと一緒に
「いる」か

C 「いる」ことの幸い

1 「あなたはいていいのですよ」

神さまのコミュニティーの本質

～「いる」ことが祝福される

2 健やかであることのすばらしさ

と同時に……

D「いる」恵みに生きる

1 「いる」ことを認める

「いる」～祝福メッセージ

2 「いる」恵みを伝えられない自分

～なぜなのだろう

おわりに

「神さまがともにおられる」メッセージ

- 1 「弟子とする」ことが中心
イエスさまに目が向くようにという方向性
- 2 どのような弟子たち？ 疑った者もいた
- 3 神さまの恵みは
行って ~中心ではなく、
出て行くことに大きな意味
いつも ~わたしたちの側のあり方にかかわらず